

平成23年度に 実施した主な事業

平成23年度に実施した主な事業とその
決算額を紹介します。

健康・福祉

- ・ 榛名福祉会館・図書館を建設（平成23年度事業分）
.....3億5,000万円
- ・ 吉井障害者自立支援センターを建設.....1億7,000万円
- ・ 予防接種（日本脳炎、インフルエンザ、子宮頸がんなど）
に助成.....12億5,000万円
- ・ 医療費助成（子ども、障害者、単親世帯、高齢者など）
.....30億9,000万円

環境・安全・都市・建設

- ・ 住環境改善助成金として、住宅の改修や修繕などの工事
費の一部を助成.....1億8,000万円
- ・ 太陽光発電システム導入補助.....1億1,000万円
- ・ 高崎駅東口周辺整備（ペDESTリアンデッキ、駅前広場）
.....4億2,000万円



産業・観光・教育・文化

- ・ 中小企業向け融資.....217億4,000万円
- ・ 教育センター、市民活動センターを建設
.....16億6,000万円
- ・ 金古運動広場を整備.....10億4,000万円
- ・ 給食施設工事（新町第二小、箕郷中、群馬中央中、新町中）
.....4億1,000万円

震災

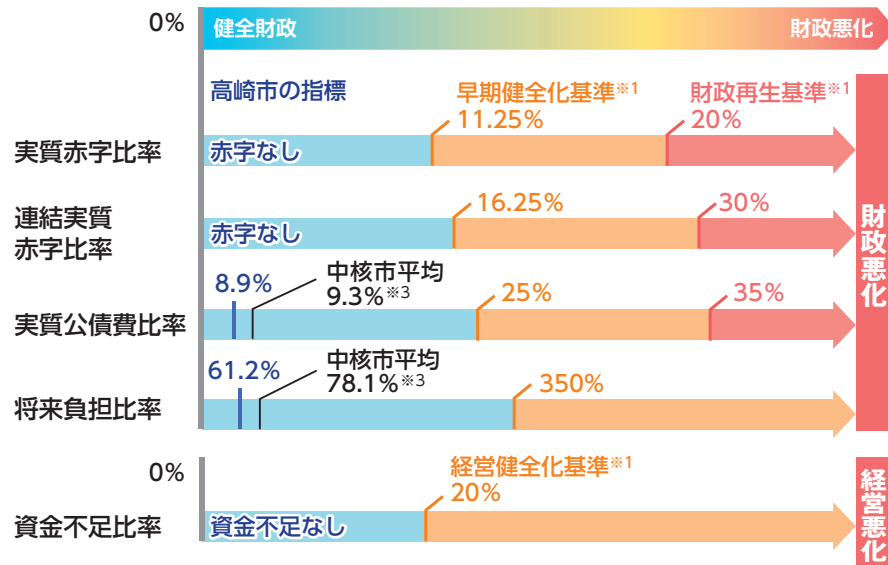
- ・ 東日本大震災対策（被災者受け入れ、施設修繕など）
.....5億9,000万円

本市全体の財政状況指標

平成23年度の決算を基に、「地方公共団体の財政の
健全化に関する法律（財政健全化法）」の規定による
健全化判断比率と資金不足比率を算定しました。本市

は、いずれの指標も早期健全化団体や財政再生団体と
なる基準を下回りました。このことから、本市の財政
状況は健全な状態にあることがわかります。

■ 財政の健全化判断比率と資金不足比率



■ 用語解説

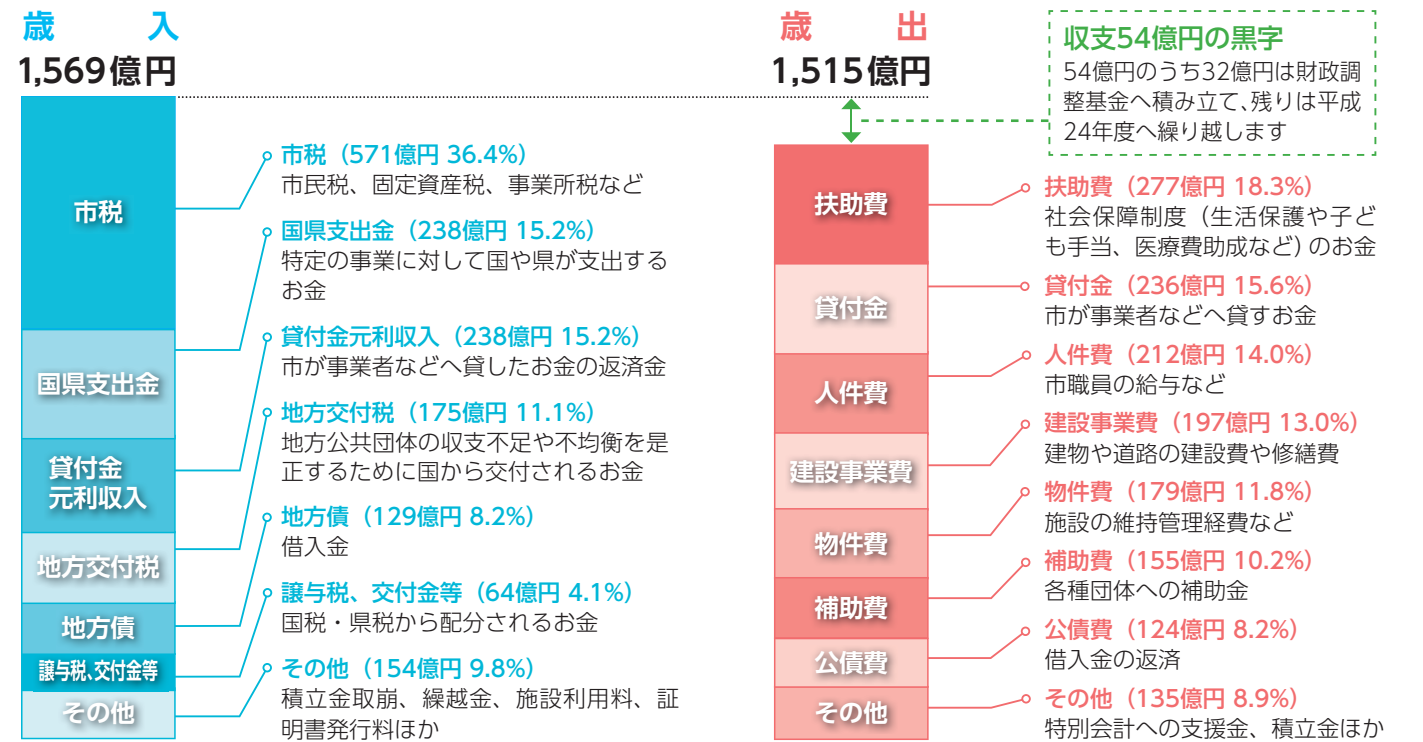
- 実質赤字比率**
一般会計と一部の特別会計を合わせた赤字の程度
- 連結実質赤字比率**
すべての会計を合わせた赤字の程度
- 実質公債費比率**
公債費（借入金の返済）とこれに準
ずる経費の程度
- 将来負担比率**
企業会計、出資法人も含めた将来の
支払い予定額の程度
- 資金不足比率**
公営企業会計ごとに事業規模からみ
た資金不足の割合^{※2}

※1 基準を超えた場合は、財政健全化や財政再生の手続きに入らなければなりません
※2 対象となるのは、水道事業会計、公共下水道事業会計、牛伏ドリームセンター事業特別会計、簡易水道事業等特別会計、農業集落排水事業特別会計
※3 中核市平均は速報値

お知らせします 平成23年度の決算

平成23年度の各会計決算が、監査委員の審査を経て、平成24年度第4回市議会定例会で
認定されました。本市の一般会計の歳入は1,569億円、歳出が1,515億円です。
各会計別の決算はグラフと表のとおりです。
問い合わせは、財政課（☎321-1214）へ。

一般会計



■ 地方債(借入金)残高 1,336億円

- 事業債 (824億円)
施設建設のための借入金
- その他 (512億円)
地方交付税の不足を補うための借入金など

■ 基金(積立金)残高 184億円

- 財政調整基金 (73億円)
財源調整のための積立金
- 減債基金 (17億円)
借入金返済のための積立金
- その他 (94億円)
用途のある積立金

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業	385億5,000万円	363億2,000万円
介護保険	237億9,000万円	234億6,000万円
牛伏ドリームセンター事業	1億1,000万円	9,000万円
母子寡婦福祉資金貸付事業	1億1,000万円	5,000万円
後期高齢者医療	33億1,000万円	32億6,000万円
簡易水道事業等	1億5,000万円	1億3,000万円
農業集落排水事業	1億7,000万円	1億6,000万円
駐車場事業	5億4,000万円	5億4,000万円
土地取得事業	6億2,000万円	6億2,000万円